

自然を生かす函館市民、きれいなまち

函館は、澄んだ空気、清らかな水、緑の山と青い海にかこまれた、恵み豊かなまちです。多くの人々が育て親しんできたこの自然を、いっそう大切にするのが函館の市民です。

わたくしたちは、このような自然を生活のなかに生かし、清潔で、緑と花につつまれたきれいなまちをつくりまします。



たとえば…

- 緑化の推進や「花いっぱい運動」に参加しましょう。
- 海、山、川をきれいにしましょう。 ● 街をきれいにする運動に参加しましょう。

郷土を愛する函館市民、のびゆくまち

函館は、古い歴史のなかで、伝統ある市民精神のもと、自治に目覚めてきたまちです。互いの立場を重んじ、きまりを尊ぶ気風を大切に、広い視野にたって郷土を愛するのが函館の市民です。

わたくしたちは、このような郷土意識を常に失うことなく、公民として進歩する意欲をいっそう強め、力を合わせてのびゆくまちをつくりまします。



たとえば…

- 交通安全運動に参加しましょう。
- 郷土愛を育てましょう。 ● 明るい選挙を推進しましょう。

はこだて賛歌

作詞 前川和吉
作曲 広瀬量平

一、誰かに住む街聞かれたら
はい 函館と答えます
明るく胸はり 答えます
親子みんなが住みついて
いのちかけたい海の街
そんな街です そんな街です
はこだて

二、手紙を書いたひていねいに
ここ 函館と書いてます
しあわせ感じて 書いてます
旅に出てみてそのよさが
しみじみわかる詩(うた)の街
そんな街です そんな街です
はこだて

三、槌音はずんでまた伸びて
いま 函館がひらけます
陸(おか)から海からひらけます
巴(おか)のしががやいいて
あすがたのしい若い街
そんな街です そんな街です
はこだて

函館市民憲章

昭和52年5月3日制定

前文

わたくしたちは、北海道の文化発祥の地、函館に住む市民です。

山と海にかこまれた美しい自然を誇り、すぐれた市民性をはぐくんできた函館を、いっそう住みよい都市に発展させるため、わたくしたち市民とまちの理想像をかかげ、ここに市民憲章を定めます。

本文

1. 真心あふれる函館市民、あたたかいまち
1. 健康で働く函館市民、にぎわうまち
1. 文化を誇る函館市民、はぐくむまち
1. 自然を生かす函館市民、きれいなまち
1. 郷土を愛する函館市民、のびゆくまち

